

行事／取組名称	ジュニアチャレンジ in 岡山		
担当者	味野道信, 原田勲		
開催日時・期間	2021年7月25日(日) 13:30~15:30	会場	人と科学の未来館・サイピア
主催	物理オリンピック日本委員会	協力	人と科学の未来館・サイピア
共催			
協賛			
概要	<p>コロナ禍での開催のため、1. 人数の制限(保護者を含めて50人以内とし、お互いの間隔を取る)、2. 実験器具などは全て主催者側で配布する、3. 換気や手・机の消毒をこまめに行う、などの処置を取ったうえで実施した。</p> <p>この会は岡山で行われている様々な“物理オリンピック”情宣活動に協賛し、今回は小学生や保護者に物理オリンピックの実態を知って頂き、更にそれらの子供たちに“科学する心”を植え付けることを目的に「ジュニアチャレンジ in 岡山」を人と科学の未来館・サイピアの協力で開催した</p>		
参加者 教員	児童	保護者	
3名	23名	約25名	

今回もコロナ禍という特殊な状況下での開催となり、サイピア側との打ち合わせの上、感染対策を施したうえで岡山・人と科学の未来館・サイピアとの協力で開催した。岡山では、これまでほぼ2年に一度第二チャレンジが開催され、岡山県教育委員会も毎年冬に高校生を対象に“科学オリンピックへの道”と称する大会を開催するなど“物理オリンピック”への関心が高い。この流れを支援するためにも、また物理オリンピック日本委員会が近年特に力を注いでいる若年層への働きかけを実施するためにも、上記企画が実行された。

講座では、まず原田が物理チャレンジと国際物理オリンピックを紹介し、更に物理に関するクイズを出題し、保護者を交えて科学的な解答の筋道を楽しんだ。その後、味野が以下の物理実験を行って、それらの背後にある物理原理を学んだ:通常の光が様々な色(波長)や偏光を持つことを、回折格子や偏光板を用いて考えさせた。具体的にはセロテープを張り付けた透明なプラスチックを偏光板で挟んだ器具を作成し、光が様々な色に輝くことを見せて、光の不思議を実感させた。保護者も含めて、手を動かすことの楽しさを実感した様子で、講座終了後も親子や友達同士で話すなど好ましい光景が見られ、私たちに幸せな気分させた。

参加小学生たちは保護者とともに、120分を通じて熱心に話を聞いたり、実験器具作成のために手を動かしたりと物事に熱中することが出来たことは素晴らしい。将来、この参加者の中から物理チャレンジやオリンピックに参加し、さらに研究者として世界に飛躍する子供が出てくることを期待している。

